【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公表番号】特表2008-518976(P2008-518976A)
【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2008-022
【出願番号】特願2007-539376(P2007-539376)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　38/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/127　 (2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/198　 (2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/16　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/16　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　 9/127
Ａ６１Ｋ　 9/06
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　31/198
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｐ　 1/16
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　 9/04
Ａ６１Ｐ　 3/10
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　37/02

【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年7月25日(2012.7.25)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
７１．９％ｗ／ｗの脱イオン水、
１５．００％ｗ／ｗのグリセリン、

２．５０％ｗ／ｗのポリソルベート－２０、
１．５０％ｗ／ｗのレシチン、
０．５０％ｗ／ｗのシトラス・シード抽出物、
０．１０％ｗ／ｗのソルビン酸カリウム、および
８．５０％ｗ／ｗの還元型グルタチオン、
を含む、嚢胞性線維症又はパーキンソン病を処置するための、ドリンク又はスプレーとしてのみの経口投与のためのリポソームグルタチオン。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５３】
構成材料であるレシチン、エタノール、コレステロール、グリセリンは、大容量フラスコ内で混合された後、これを置いて構成材料を混ぜ合わせた。（全実施例において、還元型グルタチオンが８．５％である代わりに、０．２５％トコフェロールアセテートを加えて還元型グルタチオンを８．２５％まで低下させ得る。）

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５８】
好適な実施例としては、より低い濃度のグルタチオン量を作るために、調製物は様々なグルタチオン量を含む。この記載には、米国特許第５８９１４６５号（Keller et al）に記載されている製造方法が組み込まれている。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６６】
好適な実施例としては、より低い濃度のグルタチオン量を作るために、調製物は様々なグルタチオン量を含む。この記載には、米国特許第５８９１４６５号（Keller et al）に記載されている製造方法が組み込まれている。